

山形大学工学部建築・デザイン学科

■学科の特色

山形大学工学部建築・デザイン学科は、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ、地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わる人材、そして地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行っています。 建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザインなど、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指しています。

■カリキュラムの特徴

高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学です。総合学問である建築の特性を活かすため、工学からデザインまでの幅広い領域を包括した研究・教育を行なっています。 また地方自治体や民間企業、地域団体などとも連携し建築設計やデザインした作品を地域の発展に活かす仕掛けを考える教育プログラムを展開しています。



■求める人材像

- 建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に強い好奇心をもつ人材
- 積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人材
- 世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人材

■ディプロマ・ポリシー

- 豊かな人間性と社会性
- 幅広い教養と汎用的技能
- 専門分野の知識と技能

■卒業後の進路（過去3年）

- 主な就職先
 (建設会社) 鹿島建設, 大林組, 竹中工務店, 鴻池組
 (建築設計事務所) シェルター, 鈴木建築設計事務所
 秦伊藤建築設計事務所, 関・空間設計
 (住宅関連企業) 一条工務店仙台, 新山形ホームテック
 (官公庁) 外務省, 青森県, 宮城県, 秋田県, 山形県
 盛岡市
 (その他) YKK AP, 乃村工藝社, NTTデータ東北
 サンケイビル, 長谷工不動産
- 主な進学先
 山形大学大学院, 東京大学大学院, 東北大学大学院
 東京都立大学大学院, 筑波大学大学院
 九州大学大学院, 横浜市立大学大学院



■講義紹介：西洋建築史（永井康雄教授）



西洋建築史の講義の様子

西洋建築史は、古代(エジプト、ギリシャ、ローマ)・中世(初期キリスト教、ビザンチン、ロマネスク、ゴシック)・近世(ルネサンス、バロック、ロココ、新古典主義、ロマン主義)、近代(産業革命以降)について、各時代における建築を平面的、形態的、構造的観点より検討し、それらの相互関係を歴史的に理解する講義です。この講義は国の重要文化財である旧米沢高等工業高校本館で行われています。ルネサンス様式を基調とした建物での講義は学びも深まりそう!?

■研究室紹介：三辻研究室（地震力学）

三辻研究室では、建物挙動の解明や耐震設計の高度化に貢献する研究を展開しています。8号館の実験スペースには振動台や土質試験機、大型の万能試験機が設置されており、それぞれの研究テーマに沿った実験を重ねています。

研究室には4年生から博士後期課程の大学院生まで11名の学生が所属しています。和気あいあいとした雰囲気です。互いにサポートしあいながら観測・実験・調査に取り組んでいます。他の研究室の学生から見た三辻研は、賢く落ち着いたイメージがあるそうです!



実験データを確認している様子

■製図室の紹介



3年生製図室 それぞれ課題に取り組んでいる様子

2年生3年生にはそれぞれ製図室があります。製図室では設計製図等の講義が行われています。空き時間には各自が模型を作ったり議論をしたりする場として使われます。課題が重なると不夜城になることも!?

学生からは「製図室に行くとなだれかがいるから安心する」「それぞれがそれぞれのことに熱中できる環境が良い」という声が聞かれました。